

75歳以上医療費2倍化 実施させない!!

【速報】東京高齢期運動連絡会
2021年7月22日(木)
tokyo.koureiki@gmail.com
豊島区南大塚3-43-13
スミヨシビル3F
03-5956-8781

7月22日運動スタート集会

ただちに実施許さぬ闘いを 運動スタート集会に400人

2倍化の実施を許さないたたかいをただちに立ち上げようと22日全労連会館ホールを中心にZOOMとYouTubeで全都・全国を結んだ運動スタート集会が開かれ、リアル、Web含めて約400人が参加しました。



伊藤周平さんが講演

鹿児島大学教授の伊藤周平さんがリモートで講演を行いました。



日本の社会保障制度の歴史をたどり、政権は国民に健康で文化的な最低限度の生活を保障する国の責任を放棄してきた。それがコロナ禍で医療を逼迫させたと指摘。医療費削減や病床減らしを止めさせ、医師、看護師を増やさせることが必要、運動を大きくひろげ、2倍化法の廃止を野党の共通政策にし、コロナ対策も含めて大きく共感を集める政策を掲げ、総選挙で政権与党を過半数割れに追い込もうと訴えました。

それがコロナ禍で医療を逼迫させたと指摘。医療費削減や病床減らしを止めさせ、医師、看護師を増やさせることが必要、運動を大きくひろげ、2倍化法の廃止を野党の共通政策にし、コロナ対策も含めて大きく共感を集める政策を掲げ、総選挙で政権与党を過半数割れに追い込もうと訴えました。

総選挙・秋の国会も視野に 広く知らせ、怒りをひろげ 350万の署名を

日本高齢期運動連絡会の吉岡代表委員が取り組みの方針を提起。まず広く知らせ、怒りをもって立ち上がろう。運動を思い切りひろげ全国の高齢者の1割にあたる350万の署名をやりとげよう。学習、宣伝をひろげ、総選挙、秋の国会も視野に、候補者への働きかけ、自治

体への請願、広域連合への請願などの運動に取り組もう。と呼びかけました。

会場からWebから報告・決意

神奈川社保協の根本さんは、実委を組織し、公団自治協の協力も得て署名をひろげ、年金者組合は県内全自治体に請願、採決後は独自ビラを作って宣伝した経験を話し、7月31日に神奈川スタート集会を開くと決意を語りました。

全日本年金者組合の廣岡さんは、2割負担導入で3割の人が受診控えを考えるというアンケート結果を紹介、低年金高齢者2人の具体例を話し、200万はワーキングプアの年収だ、負担増は許されないと訴えました。

宮城県保険医協会の井上さんは、大震災後被災者が窓口負担ゼロになったとき、歯科に受診ラッシュが起こったことを紹介、窓口負担がいかに受診を抑えているか宮城の経験が教えてくれたと話しました。

東京の年金者組合の上野さんは、自らの半生をふり返り、年金の低さにびっくりした経験を話し、国民がコロナに振り回される中で、ろくに知らせず2倍化を強行した政府は許せない。高齢社会の中で暮らしを守るのが政府のしごとと指摘しました。

運動を大きくひろげよう

各団体・地域で共同をひろげ、大きな運動を立ち上げていきましょう。